

送り先

MB（北陸） システム営業課 御中
丸善（北陸） 営業課 御中
七宝 システム事業部 御中
NES 情報システム課 御中
JMC 営業課 御中
北菱 情報機器課 御中
MCC（北陸支所） 御中
陸支（富山）コ課

ソフトの発注はSRCへ！！
AX、DOS/V用以外の
98用などのソフトもSRCへ

陸支コ課情報

第7号

内容

- ・技術情報 IBM BlueLightningについて
 - ・新製品情報1 AMITY SV
 - ・新製品情報2 apricot NOTE SV
 - ・情報誌トピックス — 情報誌は発行責任者保管
- 日経パソコン 4月25日号
日経エレクトロニクス 4月25日号
PC WAVE 5月号
SUPER ASCII 5月号
ASCII 5月号
月刊PC 5月号

発行責任者

三菱電機株式会社 北陸支社
電子・情報通信部 コンピュータ課
稲崎義明

(技 術 情 報)

IBM Blue Lightning について

・ 486 CPU の現状

現在パソコンでは、PentiumをCPUに用いたものがでてきていますが、486 CPUもいろいろなものが発売されています。いままでには、i486SX、i486DX、i486DX2などのインテルのものが主でした。

i 4 8 6 S X 動作クロック 20、25、33 MHz 演算プロセッサなし

i 4 8 6 D X 動作クロック 20、25、33 MHz 演算プロセッサ内蔵

i 4 8 6 D X 2 外部クロック 20、25、33 MHz 演算プロセッサ内蔵
内部クロック 40、50、66 MHz

その他には、AMDなどの互換CPUメーカーの製品やIBMからも独自デザインの互換チップがありました。これまでは、DX2などのように内部動作周波数を外部の2倍にすることによって処理能力をあげていましたが、IBMのBlue LightningやINTELのDX4などのように内部クロックを外部の3倍としたトリプルクロックの製品が発売されてきています。

・ IBM Blue Lightning

IBMは、INTELの386DXを内製する権利と互換チップをデザインする権利を得、386SCL、486SLCを発売してきましたが、この486SCLの外部バスを32ビットにして、更にトリプルクロックのテクノロジーを導入したものがBlue Lightningで、シングルの486BL1、ダブルの486BL2、トリプルの486BL3があります。

Blue Lightningは486DXの2倍にあたる16kBの内部キャッシュが特長で、486SXのインストラクションがすべて使えます。つまり、Blue Lightningには数値演算コプロセッサの機能は存在しません。コプロセッサが必要な場合はCyrixなどのものを使うことができます (apricot note SVの場合はHDD330MBの機種にCyrixを使用しています)。また、パワーマネージメントの機能を搭載し、3.3Vでの動作、0MHzまでクロックを落とすことも可能で、ケースは386DXとほぼ同じ大きさに収まっています。このように、Blue Lightningは、今回発売したapricot note SVのようなノート用のCPUということが出来ます

	CacheSize	1xClock (MHz)	2xClock	3xClock	DataBus (in)
Blue Lightning	16k	16, 20, 25, 33, 40	32, 40, 50, 66, 80	48, 60, 75, 100	32
Intel486DX2	8k	20, 25, 33, 50	50, 66	N/A	32
Intel486SX	8k	16, 20, 25, 33	40, 50	N/A	32
	DataBus (ex)	AddressBus	OnChipFPU	消費電力 (25MHz)	動作電圧
Blue Lightning	32	32	No	0.8W	3.3, 3.6, 3.8V
Intel486DX2	32	32	Yes	3.9W	5V
Intel486SX	32	32	No	3.9W	5V

(新製品紹介 1)

三菱ペンコンピュータ

AMITY SV 発売

(発売機種の概要)

三菱ペンコンピュータAMITYの新モデルとして、業界で初めて高解像度モノクロ液晶を搭載した「AMITY SV」を発売

- ・型番 M3016-A08
- ・CPU i486SX-25MHz
(高速演算プロセッサ対応無し)
- ・メモリ 標準4MB (max 8MB)
- ・HDD 80MB
- ・FDD オプションで外付3.5インチ接続可
- ・表示 10.1インチモノクロ液晶 16階調
(1024×768ドット:SVGA)
外部ディスプレイ接続可(同時表示可)
- ・ICカード PCMCIA2.0準拠
TYPE・×1、TYPE・×1
- ・バッテリー 標準バッテリー 2.0時間
オプションバッテリー 2.5時間
大容量バッテリー 5.0時間
- ・OS MS-DOS5.0/V、Windows3.1、Windows for Pen Computingインストール済
- ・価格 498,000

(特長)

- ・ペンコンピュータでは業界初の、10.1インチ高解像度モノクロ液晶(最高解像度1024×768ドット)を搭載しています。VGA(640×480ドット)の約2.5倍のデータを、CRT並の高精細で表示できます。
- ・CPUにi486SX-25MHzマイクロプロセッサを搭載しています。各種業務を高速処理することが出来ます。
- ・HDD内蔵のペンコンピュータとしては業界最小の容積で、重量も1.4kgと携帯性に優れています。
- ・PCカードスロットはTYPE・×1とTYPE・×1の二種類があり、LANアダプタ、ハードディスクカードなどオプションも充実しています。特に、ハードディスクカード(40MB)を装着することによって、120MBの大容量とすることが出来ます。
PCカードのプラットフォームとしては、PCM+を採用していますので、FDDシートと同様に抜き差しすることが出来ます。

(新製品紹介2)

a p r i c o tシリーズ

a p r i c o t N O T E S V 発売

(発売機種の概要)

a p r o c o tシリーズの新モデルとして、高解像度モノクロ液晶を搭載した「a p r i c o t N O T E S V」を発売

- ・型番 M3413-A112, A121, A133N
- ・CPU 486BlueLightning-66MHz
(A133Nのみ高速演算プロセッサCx487S-V33QP付き)
- ・メモリ 標準4MB (max20MB)
- ・HDD 120, 210, 330MB
- ・FDD 3モード3.5インチ×1
- ・表示 10.1インチモノクロ液晶 16階調
(1024×768ドット:SVGA)
外部ディスプレイ接続可(25万色中16色)同時表示可
- ・ICカード PCMCIA2.0準拠
TYPE・×2またはTYPE・×1
- ・ポインティングデバイス タブレットポインタ内蔵可能
- ・オーディオ機能 ヘッドホン、マイクインターフェース内蔵
- ・バッテリー バッテリー 2.0時間
- ・OS MS-DOS5.0/V, Windows3.1インストール済
- ・価格 M3413-A112 398,000
M3413-A121 448,000
M3413-A133N 498,000

(特長)

- ・ノートブックパソコンでは業界初の、10.1インチ高解像度モノクロ液晶(最高解像度1024×768ドット)を搭載しています。VGA(640×480ドット)の約2.5倍のデータを、CRT並の高精細で表示できます。
- ・CPUに486BlueLightning-66MHzマイクロプロセッサを搭載しています。各種業務を高速処理することが出来ます。
- ・ヘッドフォン、およびマイクロフォンインターフェースを標準装備し、オーディオ機能にも対応しています。
- ・PCカードスロットはTYPE・×2またはTYPE・×1に対応しています。LANアダプタ、ハードディスクカードなどオプションも充実しています。PCカードのプラットフォームとしては、PCM+を採用していますので、FDDシートと同様に抜き差しすることが出来ます。
- ・指先でポインティングできる内蔵タブレットポインタをサポートしています。
- ・システム起動ロック、キーボードロックなどの機密保護機能を備えています。

(情報誌トピックス)

○経歴誌 4月25日号

特集 一から始めるマクロ入門

マウスだけでマクロを使いこなす

→プログラミングレスの自動記録機能をつかったマクロの使い方

プロログ 大きく変わりはじめたマクロ

→複数のアプリで共通して使えるマクロが出てきている

入門編 マクロを使うための基礎知識

実践編 記録、登録から修正・追加まで

<一太郎 Ver 5.0>マクロ記録の基本と例題

<Excel 5.0> マクロ記録の基本と例題

まとめ マクロをうまく使いこなすために

第2特集 総合ソフトメーカーへの脱皮なるか

「一太郎」のジャストシステム

→データベースの「五郎」を発売し総合ソフトメーカーの仲間入り

周辺機器 ノート型パソコン用電池はどれが本命か

→ニッカドに代わる新型電池（リチウムイオンなど）の利用始まる
パソコンで使えるミニディスクって何？

→音楽用ミニディスクがコンピュータでも使える

記録用は光磁気ディスクでMOより大きい140MBの記録可能

New Product

Windows対応の地図作成ソフト

→国土地理院の地図データを利用できる

PCカードの互換性電子協が検証の場を提供へ

新製品レビュー

Power Windows カノーブス

→仮想画面で1600×1200ドットの解像度まで対応

画面上では例えば640×480の表示でスクロール可能

○経歴誌 4月25日号

技術 ファミコン開発物語（第2回）

→ファミコン開発までの経緯

任天堂と三菱電機

製品 開発ツール Windows用コンパイラを比較

C++とBASICを比較

データチャート CATVの利用率は3.5%と低く、潜在ユーザも4.8%と低い

ニュースレポート PCIバスの採用相次ぐCompaqなどが製品投入

HPが100VG-AnyLAN準拠のハブとボードを発売

シャープが反射型カラー液晶パネルを試作

○ P C W A V E 5 月 号

特集 愛しのカードコレクター

PCカードのことがぜんぶわかる

いま国内で入手できるPCカードカタログ

注目したいPCMCIAのアーキテクチャと業界動向

PCIの普及とともに焦点となるCardBus規格

トータルシステムとしてのPlug & Play

PCカードの規格・仕様と最新のキーテクノロジー

Review カラーカタログの見本を制作する

低価格のフルカラーシステム構成で

Video for Windows1.1のコーデック内容と課題

PC Blue WAVE

ポケットマネーで衛生通信サービス分野に乗り出したビル・ゲイツ

→840個の小型通信衛星によるデジタル無線通信網

○ S U P E R A S C I I 5 月 号

User's View PCIがやってきた!

90年代の標準バスアーキテクチャ

→ポストISAバスターゲットのPCIの内容と将来について

Special Chicagoの概要

Visual Basic Applications Edition

→VBAで変わるWindows環境

Review 電子ブック検索ソフト3種

DBOOK/DDWIN/EBOOK

○ A S C I I 5 月 号

特集 I これでもまだDOS6にしない?

→DOS6になっての改良点などを特集

特集 II しあわせの大容量記憶装置

→主流となりつつある500M~1GBHDDを中心に使いこなすとノウハウと最新動向

ASCII EXPRESS

インテルが100MHz動作のPentiumなどを発表

マルチ/デュアルプロセッサのポート

CPUクロックを0MHzまで落とすことのできるSL技術採用

インテルが486マシンからPentiumまでサポートのPCIチップを発表

ディアイエスがモデルシェアリング機能を持つFAXサーバソフトを発表

米Appleが新型Newtonを発売

○月刊PCC 5月号

特集 Windows VS Mac

ソフトからハードまで、今だからできる徹底比較

概論 WindowsとMacはこんなに違う

→生い立ちから成長過程、ユーザの現状、未来を比較

比較 違いを知るための30のポイント

基本ソフト、アプリケーション、ハードウェア

レビュー これがMac 10年目の結論PowerMacだ！

BEST BUY 画質、機能、操作性から判断する

17インチディスプレイのBESTは

特別企画 次世代32ビットOSの実力を知る

Windows NT

Chicago

OS/2 J2.1

NEXTSTEP 3.2J

Solaris 2.1

今月の用語 「画像圧縮技術」